

会長挨拶

2012年7月吉日
東京八王子プロバスクラブ
第16代会長 佐々木 研吾

創立以来15年余、会員の努力で培ってきた叡智を、さらなる躍進の糧に

このたび、囘らずも第16代会長に就任しました。前期は、創立15周年記念事業をはじめ、数々の新事業に着手し、文字どおりひとつのエポックを画する期となりましたが、今期はこれを継承し、微力ながら、さらに発展させていきたいと考えております。

当クラブの会員数は、草創期の30名台から今や70名を超えるにいたりました。また、会員の年齢層は、戦前・戦中期育ちの世代から団塊の世代にまで拡大し、加えて現役時代の専門、経歴等の幅も一層広がり、会員の構成は、ますます多様化しつつあります。それだけに、この際、今一度クラブ結成の原点（“知性、教養、経験を活かして地域社会に知的貢献を”）に立ち返るとともに、これまでの努力・蓄積を活かしつつ、社会環境の変化に対応した新たなニーズにも対応すべく、不断の努力を傾注して参ります。

このため、クラブ内部では、引き続き親睦・意思疎通の強化に努めて参りますが、対外的な社会奉仕活動の面では、次の事項に力点を置きたいと考えています。

(1) 八王子「宇宙の学校」の運営

クラブ活動の場を、子ども教育の面にまで広げ、あわせて一般市民の方々、行政当局、関係諸団体との紐帯強化を図ります。

(2) 生涯学習サロンの充実

このところ一般参加者が増加傾向にあるほか、関係各方面のご好評を頂いておりますが、新たな話し手やテーマの発掘を図るなど、一層の充実に努めます。

(3) 近隣プロバスクラブとの交流

関東地区所在のクラブとしての立場から、近隣クラブとの交流を促進して参ります。